



2006年10月13日 第2007-09号

【発行】J A M

【発行責任者】大山勝也

【編集】政策・政治グループ

03-3451-2586

E-MAIL : syakai@jam-union.jp

連合と民主党が「ともに生きる社会をつくる」共同宣言

連合・高木会長と民主党・小沢代表で調印式

連合と民主党は、「格差是正」と「安心・公正」社会の実現に向けての「共同宣言」を策定。本日夕方、高木会長、小沢代表双方が署名する調印式を開催し、広くマスコミ等へ公表します。

この「共同宣言」は、06年7月より連合と民主党の間で検討が開始され、8月には古賀事務局長と松本政調会長を座長とした共同宣言起草委員会を設置し、協議を重ねて作り上げたものです。

政策に関する組合員の理解を深めよう

連合は2007年度の最重要課題として、格差是正を全面に掲げつつ、政策実現、春季生活闘争、組織拡大など一体的な取り組みを展開し、07年4月の統一地方選挙、7月の参議院選挙での勝利につなげていくことを目標としています。

そのためには、組合員の皆さんに、連合がめざしている社会の姿と具体的な政策についての理解を十分に深めてもらう、連合と民主党がめざすべき社会像を共有化し、連合の政策実現のためには、民主党を支援していくことが不可欠であることについての理解も深めてもらうことが必要です。

安倍新内閣への対立軸を明確に

「共同宣言」は連合政策の実現と選挙での民主党支援を結ぶブリッジとしてまずは組合員の皆さんにアピールすることを目的としたものです。また、同時に安倍新内閣発足、小沢新体制発足のタイミングにおいて、広く社会に安倍新政権への対立軸を訴えるものでもあります。

共同宣言の概要は下記の通りですが、調印式終了後に、高木会長、小沢代表の署名入り「共同宣言」の写しを、別途送付いたします。

【連合・民主党共同宣言概要】

1. 思いをひとつに

民主党と連合は、未来に向けて希望あふれる国、ともに生きる社会をつくる意志を共有している。
だれもが、明日に向かって、自らの意志によって生き生きと働き、自己実現ができ、日々充実した人生を送ることのできる社会、多様性を理解しあい、互いに補い合う温かく優しい社会をめざし、手を携えてともに進む決意である。

2. 私たちがともに生きる社会とは

公正な競争の下、まじめに働く人が報われる社会
貧困の固定化、希望格差のない社会
安心と信頼の社会保障制度が構築された安心できる社会
すべての子どもたちに教育を受ける権利と機会が保障される社会
社会全体で出産・育児を支える社会
真の地方分権が確立した国
質の高い雇用が確保され、働き方によって格差が生じない社会
自ら決して戦いを起こさず、世界の恒久平和を実現し、国際社会の一員として尊敬される国

3. 岐路にある日本

自公連立政権は、政治の使命を省みず、政府に本来の役割を果たさせていない。このままこの道を突き進むのか、それとも明日への希望のために、新たな道を切り拓くのか、その選択をいま、私たちは問われている。

4. 政権交代に向けて

真の民主主義を確立し、国の行方を正しく導くためには、政権交代以外にはありえない。

民主党と連合は、この認識を共有し、「格差是正」と「安心・公正」社会の実現に向け、すみやかな政権交代をめざし、ともに携えていくことをここに宣言する。